

令和2年度 事業報告(総括)

「陶町明日に向かって街づくり推進協議会」は、昭和61年に設立して以来34年が経過しました。

その間、陶町の発展につながるさまざまな活動を展開してまいりました。中でも、世界ギネスに認定された「世界一の美濃焼こま犬」、「世界一の茶つぼ・豊穰の壺」の制作や、「六連房式登り窯・陶与左衛門窯」は、大勢の地元の人達の力の結集により築き上げられたものです。この町民の皆様の力こそが街づくりの宝であり、支えであります。

世界中が新型コロナウイルス感染症の蔓延に苦しむ中、陶町の街づくり推進協議会も例外ではなく、多くの事業が変更を余儀なくされました。そんな中でも生活環境部会は夏花・冬花を例年通りに町内各所に届け、町内を花で飾りました。また、与左衛門部会は、数多くの講座・作陶体験等を実施し累計で1,767名の方々に参加していただき、9月には町民の皆様方の多大なご協力を得て17回目の与左衛門窯の焼成を無事行うことができました。

平成23年度から当協議会が指定管理を行っている陶公民館におきましては、地域の各種団体や学校と連携をとり、地域の拠点となるような施設を目指した活動が認められ、文部科学省より優良公民館表彰を受けました。

当協議会は、①企画広報部会、②生活環境部会、③文化教育部会、④セーフティーネット部会、⑤与左衛門部会の5つの専門部会に分かれて、それぞれが進める継続事業に加えて、協議会としてその時期に必要なとされる全体事業を企画して取り組んでまいりました。

(各部会の事業報告は、別紙のとおりです。)

今年度も「夢づくり地域交付金事業」を活用した事業に取り組みました。

① 安心・安全に暮らせる街づくり事業

新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた防災訓練を行うことができませんでしたが、陶公民館体育室にて開催された、みずなみ防災会主催の「新型コロナウイルス禍の避難所開設・運営訓練」に参加しました。

② 環境美化事業

陶町内を花で飾り、美化の啓発につなげ、ごみの無い街づくり、ごみを出さない街づくりをめざしました。

生活環境部会が中心になって、町民の皆様と一緒に、種まき、ポット移植をして咲かせた花(パンジー、ビオラ、マリーゴールド、ベゴニア)を、陶小学校、陶幼稚園、町内の施設、長寿会に配布し、育ててもらっています。

③ 交流人口拡大事業

陶与左衛門窯の陶芸活動は、新型コロナウイルス感染症対策をほどこし、およそ1,800人の参加者にご利用いただきました。こま犬・茶つぼを含めて3,000人ほどの見学をいただきました。また、陶与左衛門のPR用パンフレットを刷新しました。

④ 文化振興事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、各種催し物等の開催が中止・縮小となりました。そんな中ではありましたが、陶小学校6年生の皆さんと中馬街道を探索し、街道沿いの史跡・石仏を見学、郷土の歴史に触れてもらうことができました。また、他部会員の協力も得て、案内看板の設置、街道の整備や石仏の保護作業を行いました。

⑤ 広報活動事業

アプリケーション SUE を通じ、協議会活動を町民の皆様に伝える活動をしました。活動の見える化に取り組み、A4・8ページで写真を主体にした報告としました。また、情報をスピーディーに届けるツールとしてホームページを活用しました。

⑥ 福祉事業

新型コロナウイルス禍のため、「サロン一歩」での健康相談・住民福祉相談は実施出来ませんでした。

東濃厚生病院副院長と看護師による「新型コロナウイルス感染症対策」の講演会も、リモートでの開催を計画し準備を進めたものの、直前で中止を決定。参加申込をされた方には講演内容資料を配布し、感染症対策の知識を学んでいただきました。

⑦ すえっこ育成事業

多くのイベントが中止になった中、陶与左衛門窯の火入れ式と陶町文化展に赴きました。また、陶町イメージキャラクターとしての知名度を上げ、街の宣伝活動の為に、「すえっこくん・自己紹介書」を作成しました。

夢づくり地域交付金事業は、令和3年度も引き続き取り組んでまいりますのでご協力くださるようお願いいたします。

今後とも当協議会は、「陶町に住んでいて良かった・いつまでも住み続けていきたい」と言われるようなまちづくりを目指して、町民と行政が協働して活動をしてまいりますので、皆様方の一層のご支援とご協力をお願いいたします。